

団体名:桃山学区健康危機管理サポーター実行委員会

活動名:指定避難所における健康・衛生管理活動

日時:令和元年 12月14日(土) 19時30分 ~ 20時30分
場所:桃山コミュニティセンター(緑区桃山 2-96)

■団体の紹介■

緑区桃山学区で今後の大規模災害が起こった時に、指定避難所での避難者の健康管理や衛生管理を行えるような、人材を危機管理サポーターとして地域の中で育成する目的で活動を始めました。具体的な活動としては、同じ地区の桃山学区防災ミーティングの団体が主催で開催する避難訓練に参加し、健康危機管理サポーターとしての活動をアピール。また、区役所主催のイベントに参加して啓発活動を実施。また団体の中で看護師でもあるメンバーが講習会を企画、参加者に知識や技能を習得してもらながらメンバーを増やしていく活動をしています。



実行委員のメンバーの事前打合せ

■活動の内容■

当日は、研修会に先立って桃山学区健康危機管理サポーター実行委員会のメンバーと、桃山学区防災ミーティングの代表者と、講師の先生で研修内容と司会進行の打合せを兼ねてメンバー全員で意識の擦り合わせを行いました。



講師:土川 睦子先生

今回の研修テーマは、「『避難所生活を健康に過ごすためにはノロウイルスなどの細菌感染に関する基礎知識』と、『患者が避難所で発生した場合の対処法について』」専門家の方をお呼びして具体的に分かりやすく説明して頂きました。

講師の先生は、糖尿病看護認定看護師で訪問看護の起業もされている土川 睦子先生。自分が関西出身で阪神淡路大震災を体験したことにより、実体験に基づいた災害時の対応についての話を聞くことができました。

講習会の会場である桃山学区のコミュニティセンターには地域住民で災害に関心がある方や、サポーターの方々が30人弱集まりました。

正しいマスクの付け方から、避難所での保菌者を処置した後の手袋の捨て方等の具体例も分かりやすく、イラストを交えて説明。避難所での感染の拡散を防ぐ方法なども教えてもらい、参加者は災害時の避難場所での対応について考える場が出来ました。

また今後の地域の活動に入って具体的に動ける方も

見受けられました。研修会の終了後、団体の方から今後の活動に向けた取組について説明し、研修の参加者に健康危機管理サポーターの募集をあらためて呼びかけました。

今回の活動視察で、この活動を通じて地域住民の防災への意識が高まるだけでなく、地域全体の災害時の共助や、健康面など防災以外の日常生活でも参考なり、モデルケースとして他の地域の幅広い方に広げて行ける取り組みだと感じました。



講習会参加者の受講の様子